

体験と図上で学ぶ！防災研修を開催！

5月15日（金）に、神奈川県総合防災センター（厚木市）で自主防災組織リーダー等研修会を受講しました。



今回参加した10名の防火推進員の皆さん



自主防災組織の講義の様子

研修は、地域防災の要となる「自主防災組織」の講義からスタート！

自分たちの街を守る仕組みを頭に入れた後、総合防災センターの体験フロアへ移動し、激しい地震の揺れや煙のなかを避難する体験を実施しました。



震度7の地震の揺れを体験！



煙の中の避難方法について真剣に聞く参加者

次に、実際の消火活動を想定した、「放水体験」に挑戦！

ずっしりとしたホースの重みと凄まじい水圧に耐えながら、実技訓練に汗を流しました。火災の最前線で消防隊が行う放水活動を体験し、**火災を起こさないという火災予防の大切さ**についても、改めて深く感じていただく貴重な機会となりました。



建物火災を想定した放水訓練



ホースの結合もしっかり確認！

午後は藤沢市の地図を囲んで災害図上訓練（DIG）を実施！

ハザードマップと照らし合わせながら被害が予想される地域や、避難場所の確認、さらに「地域に暮らす高齢者や、支援が必要な方々をどう守るか」という具体的なサポート方法について、全員で真剣に議論を交わしました。



災害はいつどこで起こるかわかりません。

だからこそ、日頃からの備えと、地域のつながり（共助）が命を救う鍵になります。

今回の研修で学んだことを自主防災活動に活かしていただきたいと思います。